

本の紹介・ポップ作成にチャレンジ!

子ども司書講座 めざましキッズボランティア 新聞 第7号



図書館は、たくさんの人に本を読んでもらうため、いろいろな工夫をしています。

特に興味をひくのは、本の案内や紹介です。本屋さんによく、新しく発売した本や書店さんのおすすめ本のそばに、その本を紹介する「小さな広告」があります。これはポップと呼ばれるもので、その本の内容やおもしろさをお客さんに伝える役割があります。店員さんがキャッチコピー（目をひくような一言）を手書き

したポップは、お客さんに大人気！本が売れる、売れないを左右することもあります。図書館でも同じようにポップを作って本の紹介をすることがあります。

ポップの役割

図書館では、いろいろな目的でポップを利用しています。どんな種類があるか見てみましょう。

1. 図書館の案内
フェア、イベント、新刊本などの情報を伝えます。
2. 本棚を活かす楽しくする。
飾り付けなどに利用することもあります。
3. 読書案内
本そのものの案内です。今回みなさんがチャレンジしたものです。

本を紹介するポップは作るだけではないけません。どんな人におすすめなのか、どんな面白さがあるのか、興味をひくようなものをつくりまます。



ポップを作るためには、紹介したい本が決まらないと作れません。本は、「子ども司書講座第5回目」でみなさんを選んでいただいた本を使います。まずは、どんなことに注意してポップを作るのか見てみましょう。

みんなに選んでもらった本だよ♪
この中から1冊を選んでポップを作ります!!



ポップの作り方! その1:ポップに書きこむ内容

①書名・著者名・出版社	どの書籍の案内なのかわかるように、必ず書きましょう。
②どんな人におすすめか	ある特定の人に強く伝えたい場合に書きましょう。
③内容紹介	特徴や簡単な物語案内を書くと良いですよ。
④感想	おすすめする理由を相手に伝わりやすい言葉で書こう。
⑤キャッチコピー	目をひくような一言を書いてみよう。 例：「笑える本」「衝撃のラストにびっくりする！」
⑥その他	イラストを書いてみよう。ペンネームも忘れずに!

